

Mランドニュース Vol.158

丹波ささ山校 令和2年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県丹波篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<https://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

楽しくて愉快なときの過ごし方に、工夫も努力もいらない。人の真価が問われるのは、不快なときである。

鍵山秀三郎氏

フレッシュタニサケ NO332 より

再開に向けて

代表取締役会長

小河 吉彦



初夏の陽に照らされて、丹波篠山の山々は、新緑が輝く季節となりました。平素、皆様方には大変お世話になり、深く感謝申し上げます。

国、県の要請により、弊社は四月二十三日より一か月の営業を自粛することとなりましたが、五月二十三日、おかげさまで再開させていただきます。申すまでもなく、今後の社会の生活スタイルは、大きな変化が求められます。私たちは新たな社会生活の中で、どのように「愛の心」を育む環境を創っていくのか、今、我々に変化が求められています。言い換えれば「変える」、「変わる」チャンスと捉えております。

このような中、弊社は五月二十七日、五十八周年、

「Mランド丹波ささ山校」となって十五周年を迎えることができました。

時代は刻々変化しており、それに合わせて「Mランド」が社会にどう貢献していくかが問われてまいります。

これからもゲストの豊かな人生を願ひ、小河二郎前会長が残された「愛の心」を基に取り組んでまいります。今後とも皆様方には、様々な場面でご支援賜ることと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

ありがとう

営業チーム 近藤 正幸

四年前に神奈川県から入所された下谷良奈様。

看護大学校を卒業され、東京の大きな病院で勤務されておられ、遠方よりMランドフェスタにも二回お越しいただきました。

そんな下谷様より、四月五日に嬉しい手紙とともにタオルが届きました。

卒業されたゲストより、お手紙、ハガキをいただいた中、嬉しい贈り物が届きましたのでご紹介します。

Mランドの皆様へ

お久しぶりです。

近藤インストラクターからのお手紙、Mランドニュースで、「皆さまもコロナと戦っておられるのだ、少しずつ疲れも…」と感じました。

免疫力が大切です。心の健康も。どうか自分も、仲間も大切に、いつも通り感謝、助け合いのMランドの皆様で乗り越えられることを願っています。

想像で、Mランドではきつと今まで通り掃除が行われている、それにプラスチックアルコール消毒で予防されているのかな？と考えました。(笑)

そこで、少しですがタオルを送らせてもらいました。



職員から「おー！」と、驚きの声

コロナでなくてもいつかは使えるものではあるので、もしよければ使ってください。心の癒しになればと…少しですが甘いお菓子も送ります。

ます。しっかり手指消毒してから召し上がってください。

東京の私の病院もコロナ指定病院になったので、次の月曜日から患者様が来ます。私もまげずに頑張ります。また会えるのを楽しみにしています。

2020.4.3 下谷良奈



早速、いただいたタオルで

ご自分の仕事や生活のこどだけでも大変であろう状況の中にあっても、このような他の人に対する思いやりに、私たちは「タオル」とともに大事なものをいただきました。

下谷様、ありがとうございました。



フェスタでのひとコマ 下谷様(右)

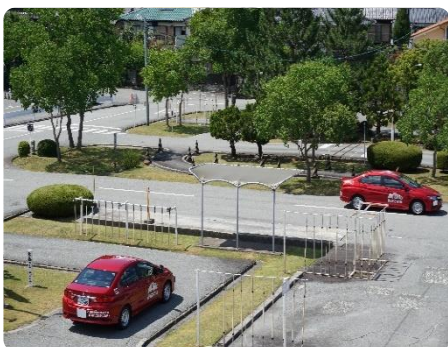
緑あふれる社のコース

「木」といえば障害としか思わなかった教習コースに、小河二郎前会長が植樹されたのが平成十八年でした。

高木、中木、低木を、「ここに植えてください」と、寸分違わず位置や向きを指示され、翌朝の講話では「五年後には、いいコースになっていますよ」とお話しされました。その木々は冬を越え、ためてきたエネルギーを放出するかのようになり、今や新芽を芽吹かせ、新しい命にふれています。

そんなことを知る由もないゲストたちでも、樹木により何かしら影響を受けておられると思っています。

「社のコース」は何度失敗しても「さあ！もう一度！」と、ゲストを応援しているように私は思います。



ゲストの目にはいつも樹木が

今、できること

営業チーム 中野 聡

多くの国民が新型コロナウイルスに対し、「人のため」と行動制限をされたことにより、事態の収束に向かいつつある反面、今後私たちはこれまでの生活スタイルを変えていかなければなりません。

私たちにできること。この国や地域、会社や家族のため、「One For All All For One」、一人はみんなのために、みんなは一人のために」と、他の人に寄り添い、支えて合う心が必要です。

そんな二月のことでした。私の友人でもある、「丹波ささやま 玉水」安田専務に、マスクが不足していることをお話すると、二月に二千枚、三月に二千枚のマスクを提供していただきました。

安田様は市内で何十台もの観光バスをお迎えされているレストランを営まれており、かねてより毎日のお客様、バスの運転手、従業員用のものとして、マスクをご準備されていました。

ところが、コロナウイルスの影響で、予約がキャンセルに

なったため、「Mランドに来られるゲストのために」と、お譲りいただいたのです。

「こんなときだからこそ、共に頑張っていかなないと丹波篠山が衰退するよ」と力強いお言葉もいただきました。

自らも、計り知れない影響を受けておられるにもかかわらず、私たちに對する思いやりに頭が下がり、ご期待に応える企業でなければと感じました。

おかげさまで、毎日ゲストにマスクが行き渡り、誰一人教習や朝のボランティア活動で体調を崩すことなく過ごすことができました。

二月より、技能教習前と後の「アームハグ」は感染防止のため中止、全職員マスクはもちろん、手洗い、うがいの励行。

三月より、毎時間教習車の消毒、来所のお客様、職員には体温検査と、全員学科教習入室時の手の消毒を徹底しました。

月間閉鎖としました。

一月には想像もなかった事態となり、当たり前は当たり前前ではなく、何気ない日常に感謝することを自然は教えてくれます。

これからの社会に適応しつつ、「人のために何ができるか」を考え、笑顔であふれるMランドで再会できることを願います。



一日も早く笑顔あふれるMランドに

職員紹介

サービスチーム 山根 佳那

平成三十年七月に入社し、二年を迎えようとしています。

高校を卒業後、地元の企業に就職した私は、二年後、ご縁をいただき結婚し、家庭に入り娘を授かりました。その娘が保育園に入園するのを機に、ふたたび社会で

フェイス・アップ!

新型コロナウイルスによる「全国緊急事態宣言」で、Mランドは四月二十三日より、五月二十二日まで一か月間、営業を自粛しておりました。

営業再開に向けて、五月二十一日と二十二日の両日、社員総出でゲストの皆さまに安心してお越しただける環境づくりにと、館内と教習車両の清掃、座席の間隔を空けるなどの準備を行いました。

また、「ありがとう」の気持ちを伝える社風は、私にとって存在することが当たり前になっていた家族に対する感謝の気持ちをも気付かせていただきました。

サービスチームは多くのお客様さまをお迎える窓口であり、気持ちよくお越しただけできるよう、チーム内のコミュニケーションを大切に取組んでおります。

これからどうぞよろしくお願いたします。



◎スマイルを忘れずに



車も笑顔もピカピカ



換気口の中も丁寧に

編集後記

仕事ができなかったこの一か月間、仕事ができることへの幸せとお越しいただくゲストのために、「感謝」の気持ちを含めて、それぞれ掃除する手にも力が入っていました。

「例外をつくらない」。新宮運送 木南一志様から教えていただいたことは、私の取り組みの一つでもありました。

五月も「Mランドニュース」を是非お届けしたいと編集している最中、営業自粛により発行できなかったことは、皆様に申し訳ない気持ちでいっぱいです。

【掃除に学ぶ会】のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

6/14 (日) 八上小学校 西トイレ (AM8:00~9:00 担当:前川)

6/28 (日) 篠山中学校 運動場トイレ (AM8:00~9:00 担当:中野)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。